

◎基本情報

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="13"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		エネルギー使用			
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進			
基本事業	2	地球温暖化・省エネ対策の率行的実行			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民、鳴門市役所、学校等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	電気や燃料の使用量を削減し、温室効果ガス排出量を削減していく。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく施策として、全庁的にクールビズ・ウォームビズ等の推進、ならびにエコ推進員を通じて省エネ対策の徹底を図る。また、緑のカーテンコンテストの開催や、広報なるとを活用した啓発活動に取り組むことで、市民の節電に対する意識向上を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成32年度までの取り組みを定めた「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づき温暖化対策に取り組んだ。市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等を推進するとともに、エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底を図った。また、ゴーヤの苗を市民、学校や施設等に提供したり、緑のカーテンコンテストを開催するなど、温暖化防止への取り組みを行った。更に広報なるとを通じて、市民や事業者の方に対する節電意識の啓発に取り組んだ。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 電力使用量	20,880	21,953	21,400	21,400	21,400	千kWh
	2 温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	21,349.2	19,276.8(速報値)	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	21,349.2	19,276.8(速報値)	-	-	-	t
	目標達成率(実績/目標)		106.9	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	0	93	93
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	93	93
		決算額	0	0	0	0	77	77
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		0.4	0.5		4,140		4,217	

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	65	77	91	91	91
	うち一般財源	65	77	91	91	91
	人件費	3,875	4,140	4,140	4,140	4,140
	総事業費	3,940	4,217	4,231	4,231	4,231

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		温室効果ガス排出量削減のため、緑のカーテンやクールビズ・ウォームビズ等の各種取り組みを実施した。
	効率性	B:概ね効率的だった		各所属におけるエコ推進員との連携により、効率的に各種取り組みを実施した。
②成果に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		各所属におけるエコ推進員との連携により、節電やクールビズ・ウォームビズ等温室効果ガス排出量削減に取り組んだが、台風等の影響もあり電力使用量は前年度より増加した。ただ、温室効果ガス排出係数が下がったため、換算した温室効果ガス排出量は目標値を達するという結果になった。
	目標	20,610.7	t	
	実績	19,276.8(速報値)	t	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		成果指標となる温室効果ガス排出量は目標数値を達したものの、その要因は温室効果ガス排出量算出に用いる排出係数が下がったことによるものである。今後もさらに温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを進めていく。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地球温暖化対策を進めるには、環境政策課だけでなく市役所全体での取り組みとなってくるため、常に各課との連携や協力が必要となる。また、地球温暖化対策を進めるには、使用機器の改善など費用面での問題が大きな課題となってくるが、状況を把握し、可能な範囲で有効な施策を検討する必要がある。職員の意識啓発に組みながら、市民・事業所等の団体にも環境に配慮した自主的な取り組みを促していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。			
	H31年度	「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。			